**第25回日本バイオメカニクス学会大会「温故知新のバイオメカニクス」**←主演題名（中央寄せ　11pt）

大会論文集原稿作成要項←副演題名（副演題名がある場合　中央寄せ　10P）

○日体太郎（日本体育大学大学院）、日体花子（国立スポーツ科学センター）、

日体次郎（日本体育大学、国士館大学）、

【背景・目的】（見出し：MSゴシック、10pt）

本稿は、第25回日本バイオメカニクス学会大会論文集（以下、大会論文集）の論文集原稿作成要項を説明するものです。大会論文集の原稿は、大会が定めた書式（本稿書式）に則り作成された**ファイルを2018年06月25日までに演題登録システム上にアップロードして下さい。**

【方法】

論文集原稿の書式は、A4（210×297 mm）版1頁とします。上下左右のマージンは20 mmとし、上部にタイトル部分を設け、その下に2段組みの本文が続きます。

タイトル部分は主演題名、副演題名、著者名・所属で構成してください。主演題名は中央寄せMSPゴシック(11pt、ボールド体)で作成し、副演題名がある場合には中央寄せMSPゴシック(10pt)で作成下さい。著者名・所属は中央寄せMSPゴシック(10pt)で作成し、予稿集原稿と同じ順番で、氏名(所属機関名)の形式で列挙してください。所属が複数に跨る方は「、」区切りで列挙してください。筆頭著者名の前に「○」を付けます。

論文集原稿の本文は【背景・目的】、【方法】【結果】【考察】【引用文献】の各章で構成し、各見出しはMSゴシック(10pt)、本文はMS明朝(10pt)で作成して下さい。【結果】と【考察】を【結果及び考察】のようにまとめても結構です。各章並びに段落の先頭は1文字分空けます。句読点には「、」「。」を使用してください。

図(写真含む)や表には図の下部または表の上部にキャプション(MSゴシック、中央寄せ、10pt)を設けてください。キャプションは「図１」、「表１」の形式（全角の数字）を守り、番号の後に全角空白1マスを開けてから始めてください。表の枠線や段組み、装飾に関して規定はございません。図表内の文字、数字のフォントに関して指定はありませんが、8pt未満の大きさになることは避けてください。カラーの図(写真)を用いても構いません。本文並びに図表等に使用する単位は基本的にSI単位系かCGS単位系を使用するようにしてください。



図１　図のキャプション

表１　表のキャプション

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | フォント | サイズ |
| 主演題名 | MSP ゴシック | 11pt (Bold) |
| 副演題名 | MSP ゴシック | 10pt |
| 著者名・所属 | MSP ゴシック | 10pt |
| 章見出し | MS ゴシック | 10pt (Bold) |
| 本文 | MS 明朝 | 10pt |
| キャプション | MS ゴシック | 10pt |
| 参考文献 | 和：MS ゴシック  英：Times New Roman | 9pt |
| 表中の文字 | MS ゴシック | 8pt以上 |

数式を用いる場合は見やすい書体となるようにしてください。数式の末尾には必ず括弧で閉じた式番号を付与し、文中で参照してください。

(1)

【結果】

引用文献リストは【引用文献】の章に本文内での引用順に「番号.」を付けて和文はMSゴシック(9pt)、英文はTimes New Roman (9pt)で作成して下さい。各引用文献は著者名、雑誌名、巻号、年の順に記述し、論文題名やページ数等は記載しません。共著論文の場合は筆頭著者のみ記述し、和文のものは「ほか」を、英文のものは「et al.」を付与してください。学術講演会・国際会議等で発表したものは著者名、大会名、年を記述し、論文題名やページ数は記述しません。本文内での引用時には文末に限らず適切な位置で、文献番号を[5]、[1-3]、[2,4]の形式で引用ください。

【考察】

論文集原稿のファイルサイズは2MBまでとし、ファイル名は「登録id\_筆頭著者氏名.doc」としてください。

例：007\_Nittai taro.doc

論文集原稿作成にあたってご不明な点がございましたら、下記大会事務局までご連絡ください。

E-mail : jsb2018@nittai.ac.jp

【引用文献】

1. 日体太郎，バイオメカニクス研究，16(2)，2012．
2. 柏木悠ほか，第23回日本バイオメカニクス学会大会，2014．
3. Nittai. T, 15th ECSS, 2010.
4. Nittai. T et al., J. Biomech, 30(2), 1997.
5. Fukazawa. J et al., J Appl Biomech, 29(1), 2013